

地域住民とすすめるまちづくり

～城南地区の取り組み～

平成30年11月9日（金）
合同特別研修会

桑名市社会福祉協議会 森 輝
生活支援コーディネーター（2層：南部包括圏域担当）



○生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）とは

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者

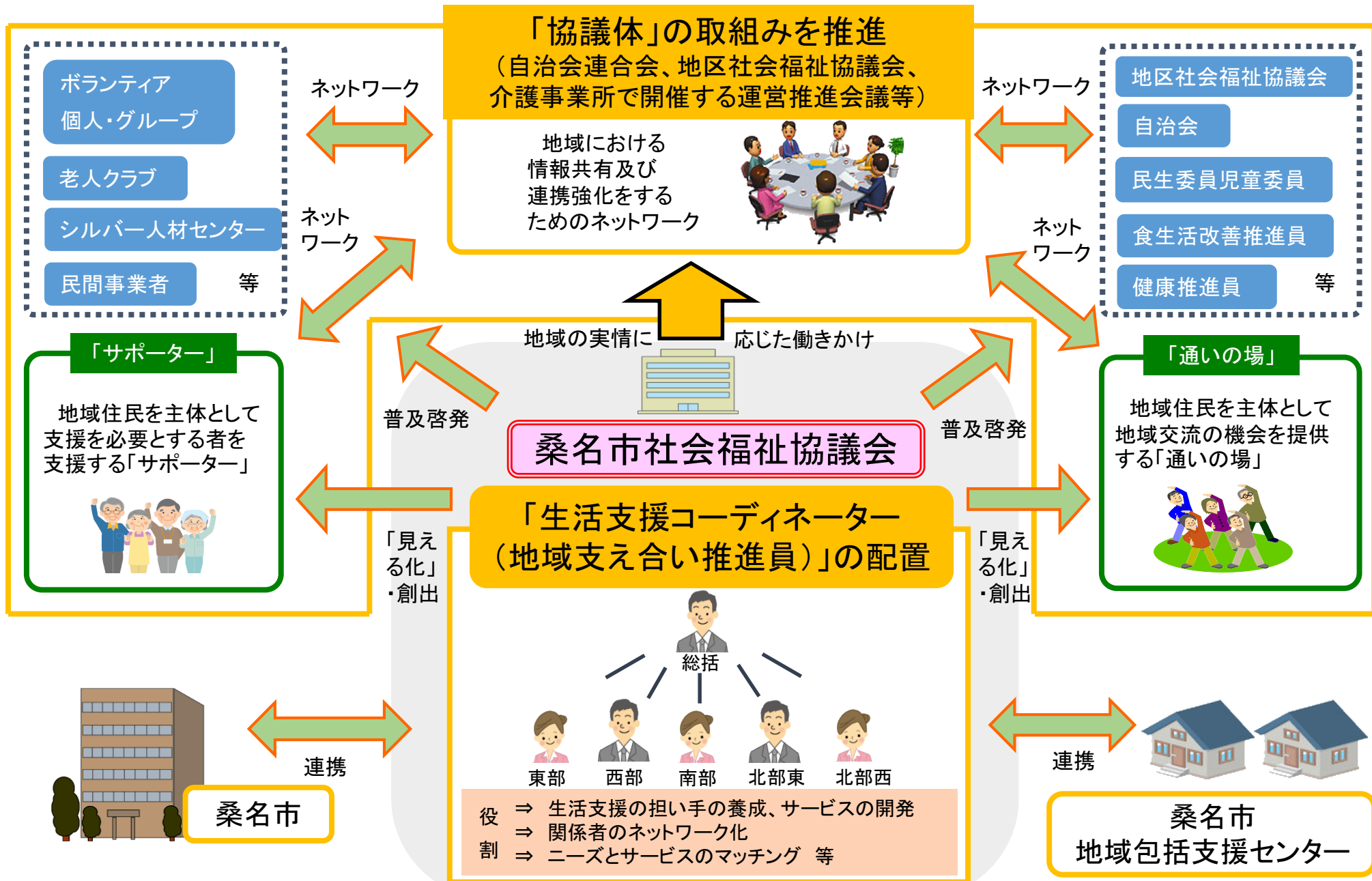
○生活支援コーディネーターの設置目的

市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、コーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進すること

※参照 厚生労働省

**地域住民同士がつながり、地域住民同士で支え合える（互助）地域を
地域住民と一緒につくりあげていく**

桑名市の「生活支援体制整備事業」の基本的な方針



生活支援・介護予防の体制整備におけるコーディネーター・協議体の役割

生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取組

(1) 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置 ⇒ 多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進。コーディネート機能は、以下のA～Cの機能があるが、当面AとBの機能を中心に充実。

(A) 資源開発

- 地域に不足するサービスの創出
- サービスの担い手の養成
- 元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保 など

(B) ネットワーク構築

- 関係者間の情報共有
- サービス提供主体間の連携の体制づくりなど

(C) ニーズと取組のマッチング

- 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動をマッチングなど

エリアとしては、第1層の市町村区域、第2層の日常生活圏域（中学校区域等）があり、平成26年度は第1層、平成29年度までの間に第2層の充実を目指す。

- ① 第1層 市町村区域で、主に資源開発（不足するサービスや担い手の創出・養成、活動する場の確保）中心
- ② 第2層 日常生活圏域（中学校区域等）で、第1層の機能の下で具体的な活動を展開

※ コーディネート機能には、第3層として、個々の生活支援・介護予防サービスの事業主体で、利用者と提供者をマッチングする機能があるが、これは本事業の対象外



(2) 協議体の設置 ⇒ 多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進

生活支援・介護予防サービスの多様な関係主体の参画例

NPO

民間企業

協同組合

ボランティア

社会福祉法人

等

※ コーディネーターの職種や配置場所については、一律には限定せず、地域の実情に応じて多様な主体が活用できる仕組みとする予定であるが、市町村や地域包括支援センターと連携しながら活動することが重要

人口構成

	地区人口 (人)	65歳以上 (人)	割合 (%)	75歳以上 (人)	割合 (%)	14歳未満 (人)	割合 (%)	世帯数
桑名市	142,791	36,553	25.6	17,551	12.3	19,370	13.6	58,586
城南	8,681	2,084	24.0	977	11.3	1,179	13.6	3,797
益世	7,828	2,257	28.8	1,271	16.2	945	12.1	3,460
日進	5,950	1,625	27.3	895	15.0	698	11.7	2,704

※高齢化率 益世 1 2 番、日進 1 5 番、城南 2 1 番 (2 8 地区中)

※H30.3

地域で実際に聞かれる声

近所付き合いが減ったなあ
将来、地域で孤立してしまいかも...



足が悪くなったから
買物も病院に行くのも
大変だわ
家事やゴミ出しも億劫だし



通いの場をしようにも場所がない



来月の通いの場で
何しよう...

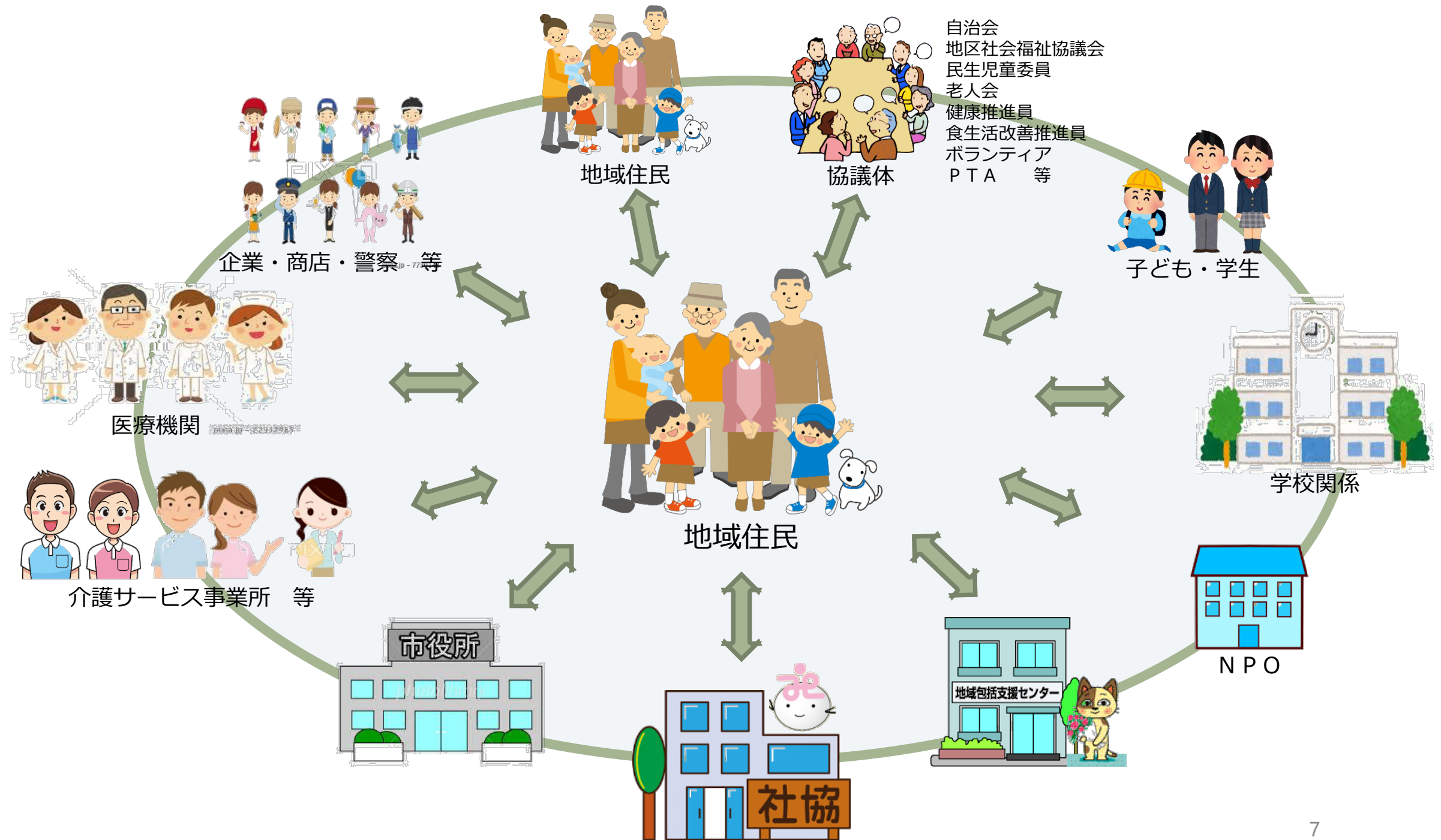


今は元気だからいいけど、介護保険って
どうしたらいいの？



高齢者だけでなく子どもたちも一緒に集まれる場所があったらいいなあ





【平成28年度】

- 地区社協会長・自治会連合会会長に『ふくし座談会』開催の提案
- 地区が広いので、ニーズは違う。全体ではなくブロックに分けて開催してはどうか。(連合会長)
- 地区社協役員会・自治会連合会総会にて説明
- 開催内容を両会長と検討していたが、任期により連合会長が交代

⇒構想を両会長と共有するだけで終わってしまった

【平成29年度】

- (新)自治会連合会長にH28年度の経緯を説明
 - ※(前)会長より引継ぎをしていただいていた
- 地区社協会長・連合会長と『ふくし座談会』の開催方法や目指す地域像について意見交換
- 集まってから地域の課題を考えるのではなく、アンケート調査でニーズ把握をしてから進めた方がいいのでは。(両会長)
- 地区社協、自治会連合会、民生委員、老人会、人権啓発推進会、地区市民センター所長とともにアンケート内容や進め方等打合せ
⇒所長に入っていたことで、地区の組織の方とつながり、橋渡しをしていただくことができた

『安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査』

- 目的 行政に頼るだけでなく、住民同士で支え合える地域にしていくため、住民のニーズや課題を把握し、これからの活動のきっかけとする
- 実施 平成29年12月【アンケート配布】
平成30年1月【回収締切】
平成30年3月【アンケート報告会・ミニワークショップ】
- 主催 城南地区社協、城南地区自治会連合会
- 方法 地区内全戸配布（3,767世帯）

※アンケート作成、集計、分析は
コーディネーターが行なう



調査

安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査・
報告会を開催します

昨年、12月に行いましたアンケート調査においては、たくさんの方にご協力いただきありがとうございました。各地区での生活の困りごとや手助けが必要な方・手助けが出来る方の状況など把握することができました。このアンケート結果をふまえて、今後の城南地区での取組みに活かしていきたいと思っております。つきましては、下記日時にアンケート調査報告会を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

開催概要

とき 3月26日(月) 13:30~15:30
ところ 城南公民館 大研修室
内容 ・アンケート調査の報告
・今後の取組みについて意見交換
※事前申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

【アンケートで書かれた主な声】

買い物・病院に行くのが大変
災害が起きたらどうしたらいいの？
お祭りやイベントが少なかった
安心して暮らしたい

主 城南地区社会福祉協議会・城南地区自治会連合会
お問合せ先 社会福祉法人城南市社会福祉協議会(城南市本町7-81番地) 電話 0994-22-0215

『安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査』

内容

○地域との関わり

近所付き合いの程度、困ったときに助けを求める人、現在やこれからの暮らしの困りごと、現在手助けが必要か、現在手助けをすることは可能か

○地域活動

地域活動や公民館活動を知っているか、参加しているか
してみたい・参加したい地域活動や公民館活動、
地区に必要な活動

○今後の地域のあり方

どのような地域のあり方が大切だと思うか

城南地区のみんなの
生活の思いこみ、何でしょうか？

安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査

目ごころは、城南地区社会福祉協議会、城南地区自治会連合会の趣意にお協力いただき、ありがとうございます。

さて、城南地区においても、高齢化が進み、ご近所との関係が少なくなってきています。このことから、将来的に必要な方が増加することが予測されます。そこで、地区社会福祉協議会、自治会連合会では、アンケート調査を行い、現状を踏まえて支え合える地域にしていきたいと考えております。

このアンケート調査は、城南地区にお住まいの全世帯の方を対象に実施し、「日常生活で困っていることがある」、「ボランティア活動に興味がある」などの城南地区住民の実態を把握するとともに、ご意見、ご要望を広くお聞きし、安心して楽しく暮らしていけるまちづくりの参考にさせていただきたいと考えております。

また、このアンケート調査に際しましてはプライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣意をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年12月 城南地区社会福祉協議会
城南地区自治会連合会

ご記入にあたってのお願い

- この調査票には、お名前・ご住所を記入しなさい。
- このアンケートは城南地区の全世帯の方にお配りしております。ご家族のどなたがご記入していただいても構いません。
- お答えは、各設問の回答方法に即してご回答ください。
- なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご連絡をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。
- 調査票返却について
先見浴会員様は「見える見」先見浴に、返却の用意に入れお返しして頂きます。
先見浴は「見える見」先見浴に返却の用意に入れお返しして頂きます。
先見浴は「見える見」先見浴に返却の用意に入れお返しして頂きます。
ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

長崎市社会福祉協議会 地域福祉課 森 TEL:22-8218

『安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査』

アンケート結果

《まとめ》

- 近所に助けを求めることができない世帯は、15.2%
- 現在、もしくは今後困り事があると回答された方は、75.3%
- 手助けが可能な人は、手助けが必要な人の約2倍
- 主な手助けが必要な内容は、屋内の修繕、家具の移動、外出
- 地域活動や公民館活動に参加している方は、12.7%
- 地域に必要な主な地域の活動は、災害・避難時の支援、高齢者への支援、住みやすい地域にする
- 国道23号線を境に傾向が違う
(西側：子ども、東側：移動手段・近所付き合い)

班に1~2世帯

支え合える
土壌はある

地域特性

『安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査』

アンケート結果

《自由記述》

- 買い物や病院に行くのも大変
- 近所でお手伝い出来ることがあればさせていただきたい
- 誰にでもあいさつができる明るい地域にしていきたい
- 近所付き合いが減ったが、近所同士で助け合える地域にしていきたい
- 気楽に集まり、交流できる場所がほしい
- 災害の危険がある地域なので、日頃から近所との付き合い、高齢者世帯への見守り、声掛け等の環境を作っておくべきだと思う
- 子どもが安心して遊べる地域にしていきたい
- みんなが住みやすい地域にできるように、みんなが協力していくことが重要

移動手段

近所付き合い
コミュニケーション

子ども

住民同士のまちづくり

『安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査』

【城南地区住民の関心事や地域のあり方のテーマ】

- 地域のつながり
- 子ども
- 災害
- まちづくり拠点施設の有効活用

『安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査』

【アンケート調査報告会】

日 時：平成30年3月26日（月） 13：30～15：30

主 催：城南地区社協、城南地区自治会連合会

場 所：城南まちづくり拠点施設

参加者：26名+社協・行政・南部包括・まちづくり拠点施設

内 容：アンケート報告、ミニワークショップ

ミニワークショップで、アンケート結果もふまえ、「城南地区の良いところ、こうなったらいいな」ということを意見を出し合う



⇒**地域のことを見つめなおすきっかけとなった**

継続的に話し合いを行い、活動を進めていくことになる

【平成30年度】

『城南まちづくり会議』

日時：年4回程度開催予定

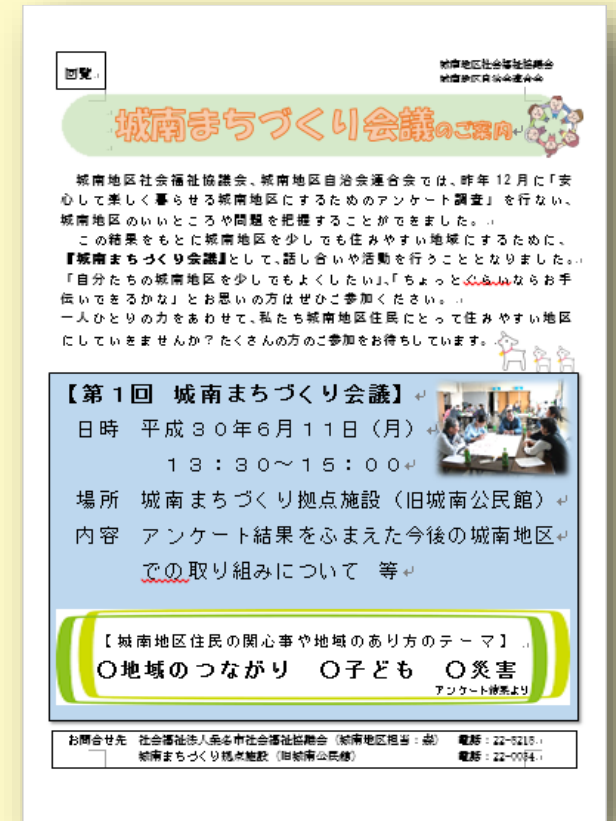
内容：①地域のつながり、②子ども、③災害、
④まちづくり拠点施設の有効活用

主催：地区社協、地区自治会連合会

周知：回覧、口コミ

まちづくり会議後に、自治会長に報告の文書
を送付している

⇒住民主体のまちづくりをしていただくため、内容や進め方
など両会長に相談しながらすすめる



城南地区社会福祉協議会
城南地区自治会連合会

城南まちづくり会議のご案内

城南地区社会福祉協議会、城南地区自治会連合会では、昨年12月に「安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査」を行ない、城南地区のいいところや問題を把握することができました。

この結果をもとに城南地区を少しでも住みやすい地域にするために、『城南まちづくり会議』として、話し合いや活動を行うこととなりました。

「自分たちの城南地区を少しでもよくしたい」、「ちょっと心算ならお手伝いできるかな」とお思いの方はぜひご参加ください。

一人ひとりの力をあわせて、私たち城南地区住民にとって住みやすい地区にしていきますか？たくさんの方のご参加をお待ちしています。

【第1回 城南まちづくり会議】
日時 平成30年6月11日（月）
13:30～15:00
場所 城南まちづくり拠点施設（旧城南公民館）
内容 アンケート結果をふまえた今後の城南地区での取り組みについて 等

【城南地区住民の関心事や地域のあり方のテーマ】
○地域のつながり ○子ども ○災害
アンケート結果より

お問合せ先 社会福祉法人垂秀市社会福祉協議会（城南地区担当：森） 電話：22-9215
城南まちづくり拠点施設（旧城南公民館） 電話：22-9994

『城南まちづくり会議』

第1回 6月11日（月）

アンケート結果をもとに、地区での取り組みの検討（案出し）

第2回 9月 5日（水）

第1回で出た案の具体的な取り組みの検討（計画書作り）

第3回 11月28日（水）

計画書完成

第4回 1月23日（水）

取り組みの実施、

次年度の活動について（未定）

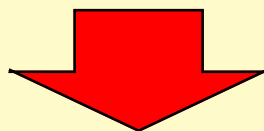


『城南まちづくり会議』

○地域のつながり

課 題：近隣関係が希薄化している

災害が起きた時など、近所同士で助け合える地域にしていきたい



取り組み：リレーでつながろう！城南の輪

目 的：世代に関わらずなじみの関係をつくる。その結果、困ったとき助け合える。

内 容：夏休み期間中、全自治会（37自治会）をリレー方式でラジオ体操をする。

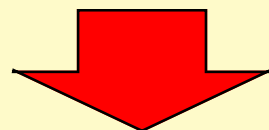
最終日は、拠点施設か小学校で地区住民全員でラジオ体操をする。



『城南まちづくり会議』

○子ども

課題：子どもが安心して遊べる地域にしたい
子どもが高齢者と関わる機会がない（少ない）



取り組み：城南いきいきのびのび子育てプロジェクト

目的：地区のみんなが少しずつ力を出し合い、子どもがいきいきと育つ地域をつくる

内容：城南小学校の児童（500名）を対象に四季に応じたイベントを開催
（花火、焼き芋、餅つきなど）

既存のイベントへの協力や新しいイベントの企画



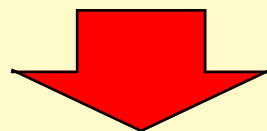
『城南まちづくり会議』

○災害

課 題：災害の危険が高い地域。



災害時の対応やどのように避難すべきかなど、災害時の支援の体制づくりをした方がいい。



取り組み：城南版要援護者マップの作成

目 的：災害時に、迅速に助け合えるような仕組みをつくる

内 容：班ごとに要援護者・支援者を登録し、登録用紙は班長が管理をする。

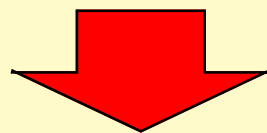
マップを班内で共有し、それをもとに誰が誰を支援するのか等支援体制を構築する。



『城南まちづくり会議』

○まちづくり拠点施設の有効活用

課 題：地区住民のための施設となったので、人や情報が行き交い、つながりあえる場所
にしていきたい。



取り組み：①愛称を決める、②サロンをする

目 的：世代に関わらず自由に使えて入りやすい場所にする

内 容：①第1回まちづくり会議時に、愛称検討 ⇒ 『つながりセンター』

②8月より毎週月曜AM、茶話会スタート ⇒ 『つながりサロン』



『その他城南地区住民の活動』

- 城南地区社会福祉協議会 宅老所そよかぜ →
- 通いの場13カ所（自治会ごとに集会所等を活用）
- 福祉の集い（民生児童委員協議会主催）
- 城南こどもくらぶ 放課後子ども教室 →
- 子ども食堂いな穂 →
- 子育て支援わかば会（子育てサロン）
- 学習支援（夏休み期間）
- おやじの会
- ひまわり畑・ヤギとの触れ合い など



心がけていること

- 住民の思いを大切にする
 - 住民にとって必要なこと≠目指したい姿
- 住民主体で進めるが、全てを地区任せにしない
 - 「やらされる」では、長続きしない
- 住民同士のつながりづくり
 - つながることで活動の幅が広がる
- 多機関連携（社協・行政・南部包括・城南まちづくり拠点施設）
 - それぞれのつながりや視点がある
- 住民の取組みや効果、実績を外へアピール（見える化）する
 - 活動の励み、意味づけ
- **住民も職員も一緒に楽しんで活動をする**



生活支援コーディネーター



鈴木雄登

【多度支所】
北部西圏域
(筒尾・松ノ木・大山田
・野田・藤が丘・星見ヶ丘
・新西方・多度)



千種隆昌

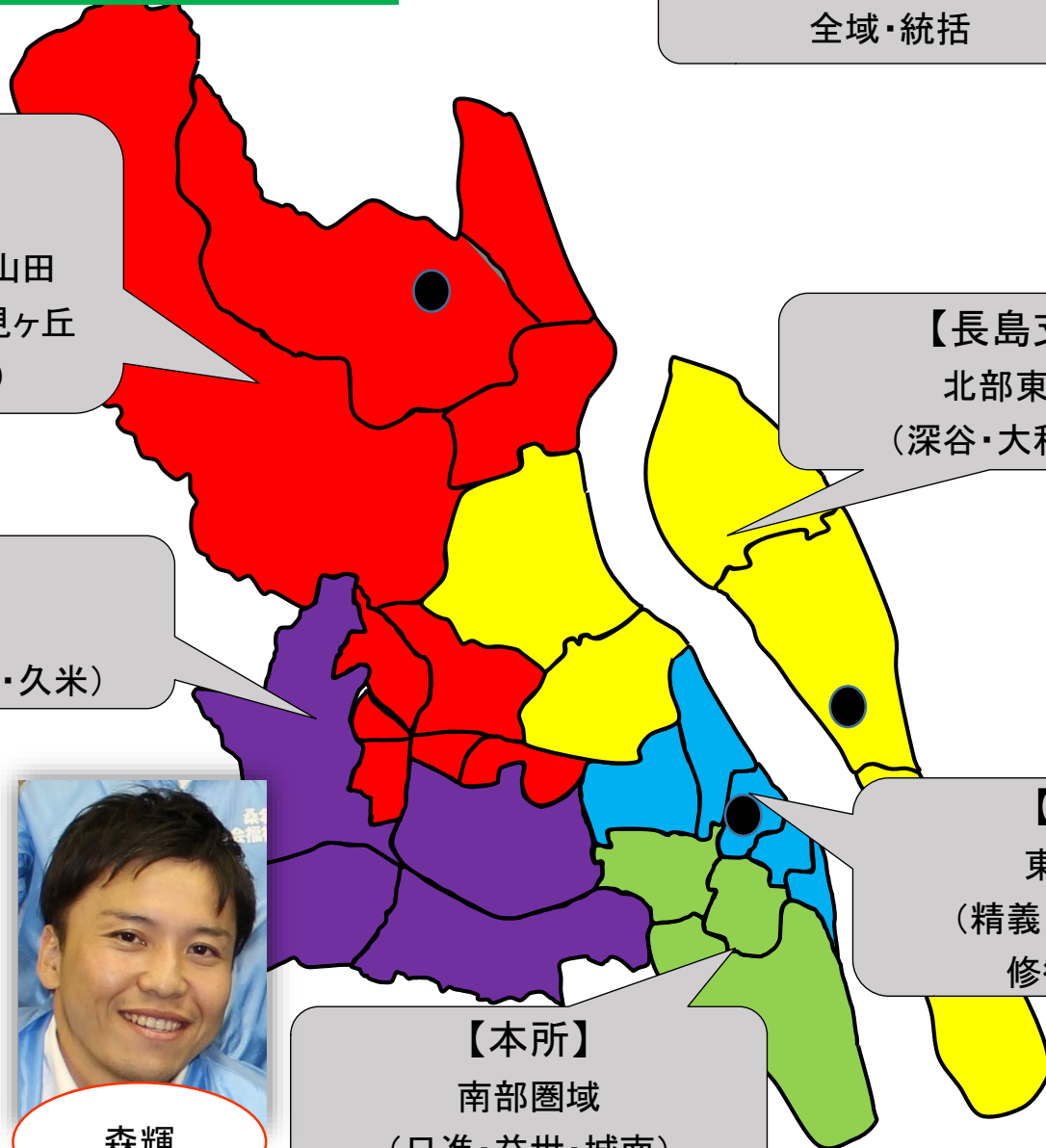
【本所】
西部圏域
(桑部・在良・七和・久米)



森輝

【本所】
南部圏域
(日進・益世・城南)

本所	22-8218
多度支所	49-2029
長島支所	42-2110



【本所】
全域・統括



一戸勝史

【長島支所】
北部東圏域
(深谷・大和・長島)



逢坂浩明

【本所】
東部圏域
(精義・立教・城東・
修徳・大成)



竹田皓彦